

■若い世代がすみやすいまちにするためのアイデア

年代	←難易度高め			難易度低め→	担当
	民間企業との連携が必要なもの (地区計画との連携も必要)	行政(厚木市)との連携が必要なもの	建築協定との連携が必要なもの	住民の連携でできるもの (自分達でできること)	
30代	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある幼稚園誘致 (「森のようちえん」など) ・コレクティブハウス(賃貸住宅)誘致 (住宅の循環を促す) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校にする (特色ある学校を公立校で) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤データ資料集め (不動産価値のアピールと連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域通貨制度の導入 (自治会や地域活動の対価としても) ・孫のための企画立案 (自分はいないが、親が住んでいる) 	角田
40代	<ul style="list-style-type: none"> ・カーシェアリング誘致 (駐車場1台の区画も多い) ・スイーツ屋さん出店誘致 (雅藤跡地の有効活用) ・パン屋さん出店誘致 (こだわりがあれば遠方からも需要がある。) ・バス便増設 (無料バスのパスを作る、) (ふおーらむとの連携を図る) ・TSUTAYA図書館誘致 (海老名に事例有) ・民間図書館誘致 (自然の中の図書館) ・居酒屋誘致 (愛甲石田の手作り料理店の様な) ・まち全体をWi-Fiスポットに (まずは公民館や自治会館から) ・カフェ付き本屋(文具充実)誘致 (例、T-SITE湘南など) ・スポーツジム誘致 (お風呂やプールがあるもの) ・スターバックス誘致 (若宮公園や病院の待合としてのカフェ) ・モスバーガー誘致 (地域野菜に力を入れている) ・エイベックス幼稚園誘致 (スポーツ、塾、幼稚園の複合施設) ・クリーニング屋さん誘致 (以前あったが撤退してしまった) ・森のテラスのリノベーション提案 (文化的商業施設に) 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇モデル地区として働きかける (地域包括ケアモデル地区など) ・〇〇モデル事業として働きかける (通学合宿の支援なども) ・指定校にして貰う (小学校のクラスを11クラスにすると該当) ・魅力ある小学校・中学校にする (特色のある教育カリキュラム) ・厚木まち・ひと・しごと創生統合戦略 (ここに参画したらどうか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・二世帯住宅の建替優遇 (国の政策では優遇の動き有。) ・団地内に小さなお店を出店 (建築協定では五丁目のみ可) ・看板の統一デザイン (おしゃれなまちに) ・学習塾の優遇 (マッピング作成なども) ・そろばん教室、書道教室優遇 (マッピング作成なども) ・小児科誘致 (特殊建築物用地は住宅が建てられた) 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNS発信 (現状の良さをアピール) ・不動産価値のアピール (建築協定をマイナス要素ではなくプラスに) ・自然の中の音楽祭誘致 (音楽祭運営は他の団体もある) ・ママ友ネットワーク (世代間の繋がりが無い) ・子育てサポーター制度の確立 (既存であっても認知度が低い) ・自治会の引き継ぎを若者へ (年配世代は楽しんでいる) ・空家の有効活用 (内容によっては建築協定と連携) ・駄菓子屋の運営 (子供が楽しいまちはみんなが楽しい) ・まちのひとの特技を活かして活性化 (住民の趣味を拓げる) ・まちのひと誰もが先生 (小学校の教室も利用) 	今若 大谷 曾根